

IZUNO LIBRARY LETTER 11

出農図書館で「魂を耕す本」との出会いを

高校生だからこそ楽しめる 絵本の世界



農業祭では、図書委員が一人一冊おすすめ絵本を紹介するコーナーを設け、たくさんの絵本を展示しました。引き続き、図書館前の展示コーナーにて12月9日まで絵本の特集をしています。この機会にいろんな絵本との出会いを楽しみましょう♪

PICK UP おすすめ絵本

高校生の皆さんにおすすめの絵本、実は紹介しきれないほどあります。

この切なさ、シュールさは大人向け・・・ そんな絵本もたくさん展示しています。ぜひ手に取ってみてください。



くまとやまねこ (湯本香樹実／ぶん 酒井駒子／え 河出書房新社)

深い悲しみの底にいるとき、必要なのは励ましやなぐさめの言葉ではないかもしれないと教えてくれた絵本です。絵も素晴らしいのでおすすめです。



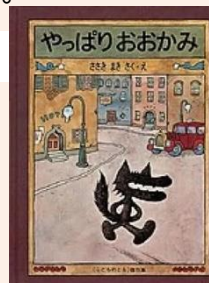
急行「北極号」 (C.V.オールズバーグ／村上春樹／訳 あすなろ書房)

オールズバーグの絵本は奇妙なおはなしが多いけれど、こちらは、これからの季節に読みたい心温まるクリスマスのおはなし。子どもにしか見えないものや聞こえないものってきっとありますよね。大人にはちょっと切ないかもしれません。

やっぱりおおかみ (佐々木マキ／作 福音館書店)

ひとりぼっちのおおかみは仲間を探して町を歩きまわりますが、なかなか見つからず...

やっぱりおおかみはひとりぼっち。でも、孤独を受け入れるラストがちょっと爽快。



ビブリオバトル校内大会

10月24日に開催したビブリオバトル校内大会。3人のバトラーがイチオシの本を紹介してくれました。

チャンプ本に輝いたのは、動物1年門脇美玖さんが紹介した『汝、星のごとく』でした。

門脇さんは12月10日に行われる島根県大会にもバトラーとして参加する予定です。



チャンプ本



汝、星のごとく

凧良ゆう／著 講談社

門脇さんいわく、凧良さんの本の中でも特に同世代の高校生に読んでほしい一冊とのこと！気になる人はぜひ読んでみてください。



そのほか、紹介された本



『夕暮れに夜明けの歌を 文学を探しにロシアに行く』（奈倉有里／著 イースト・プレス）

『腹を割ったら血が出るだけさ』（住野よる／著 双葉社）

農業祭チャリティ古本市



本を提供いただいた皆様、また農業祭当日に古本市でお買い上げいただいた皆様ありがとうございました。

売り上げの2,030円は

シャンティ国際ボランティア会に寄付しました。

新着図書

ヘルンとセツ 田淵久美子／著 NHK出版

ラフカディオ・ハーンと小泉セツ。二人の奇跡の出会いが文豪・小泉八雲の「怪談」を生んだ。ドラマチックな展開を楽しく読めるのでおすすめ。著者は島根県出身。



編集後記

読書ピンゴは約50人が参加してくれました。「普段読まないジャンルの本と出会えてよかった」との感想ももらって嬉しい限りです。12月も景品ありの読書イベントを用意していますよ。お楽しみに〜♪